

但馬の経済指標

平成29年4月～6月

兵庫県但馬県民局

【但馬の経済概況】

<ポイント>

①但馬信用金庫の但馬管内景気動向調査によると、業況判断DIは、前期より0.3ポイント減少し、△20.5となった。

②有効求人倍率は、6月期1.27倍。前年同月と比べて0.05ポイント上昇した。

	項 目	今期(4月～6月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
1	業況判断DI (全業種計)	但馬信用金庫 △ 20.5	△ 0.3	△ 3.1	
2	雇用	6月	対前月(増減)	対前年同月(増減)	
		有効求人倍率	1.27	+ 0.03	+ 0.05
		6月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		有効求人数(人)	3,936	△ 1.65	+ 3.85
		有効求職者数(人)	3,111	△ 3.45	+ 0.1
	雇用保険受給者実人員(人)	613	+ 7.17	△ 3.31	
3	金融	6月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		普通貸付残高(百万円)	10,807	△ 0.53	+ 0.26
		手形交換枚数(枚)	6,699	△ 6.67	△ 4.41
		手形交換金額(百万円)	5,546	+ 5.52	△ 9.22
		今期(4月～6月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
		不渡手形枚数(枚)	1	0	+ 1
		不渡手形金額(千円)	286	△ 152	+ 286
		6月	前月比(%)	前年同月比(%)	
	信用保証承諾額(百万円)	1,499	+ 8.31	△ 7.01	
	信用保証債務残高(百万円)	38,300	+ 0.38	△ 1.93	
4	公共工事	6月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		公共工事請負金額(百万円)	3,698	+ 266.5	△ 7.87
5	企業倒産	今期(4月～6月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
		件数	6	+ 3	0
	負債総額(百万円)	805	+ 526	+ 250	
6	地場産業	豊岡かばん	売上高、生産量、収益とも変わらず。	売上高、生産量、収益ともやや少ない。	

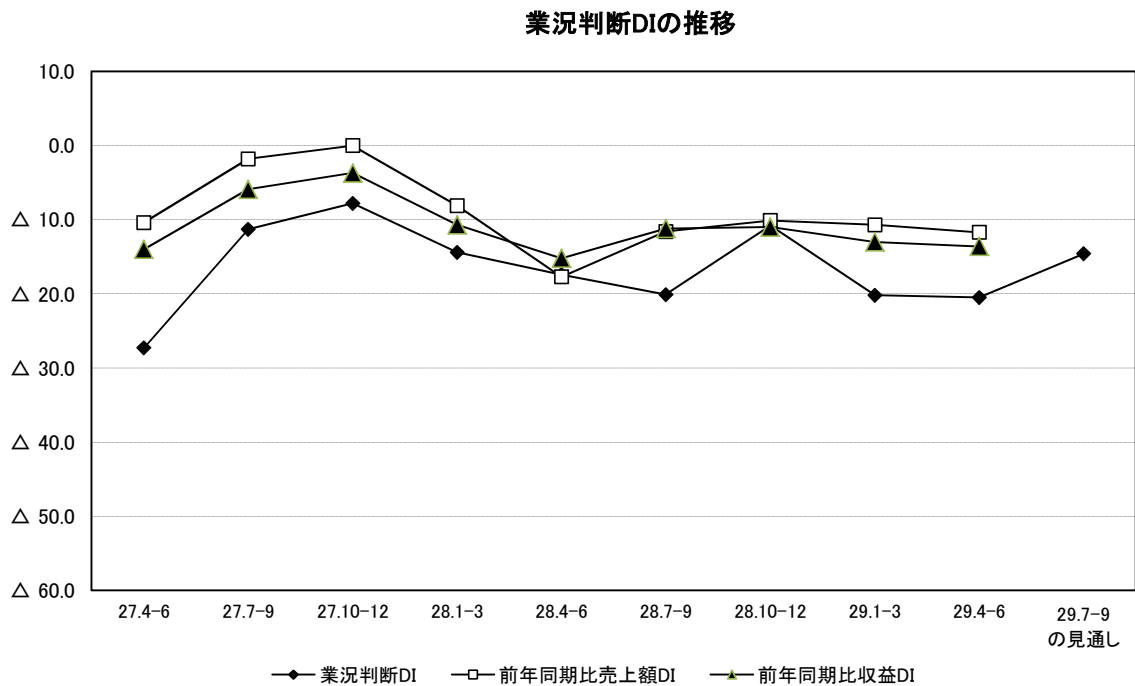
1 業況判断

但馬信用金庫

今期の業況判断DIは、前期より0.3ポイント減少し、△20.5となった。

来期の見通しについては、業況判断DIが今期より5.9ポイント改善し、△14.6となる見通しである。

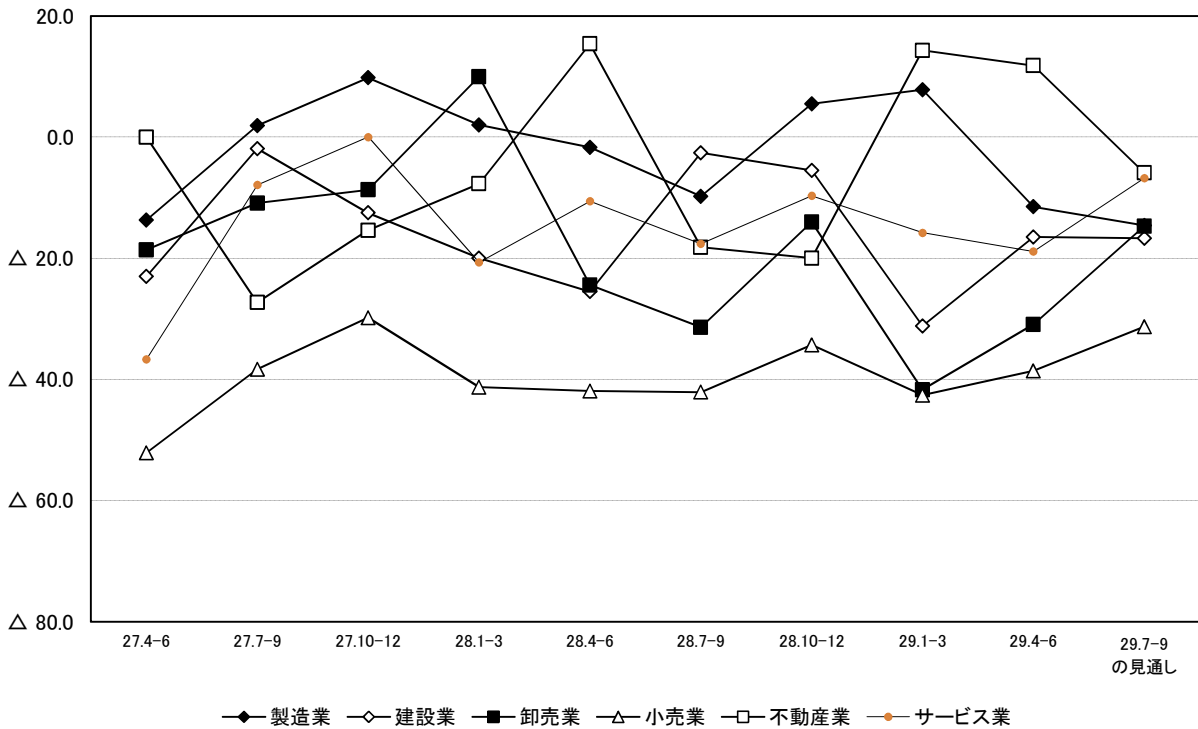
前年同期と比較した売上額DIは△11.7、同収益DIは△13.6となった。



	27.4-6	27.7-9	27.10-12	28.1-3	28.4-6	28.7-9	28.10-12	29.1-3	29.4-6	29.7-9 の見通し
業況判断DI	△ 27.3	△ 11.3	△ 7.8	△ 14.4	△ 17.4	△ 20.1	△ 10.8	△ 20.2	△ 20.5	△ 14.6
前年同期比売上額DI	-10.4	-1.8	0.0	△ 8.1	△ 17.7	△ 11.6	△ 10.1	△ 10.7	△ 11.7	-
前年同期比収益DI	-14	-5.9	△ 3.7	△ 10.7	△ 15.2	△ 11.2	△ 11.0	△ 13.0	△ 13.6	-

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

業種別業況判断DI

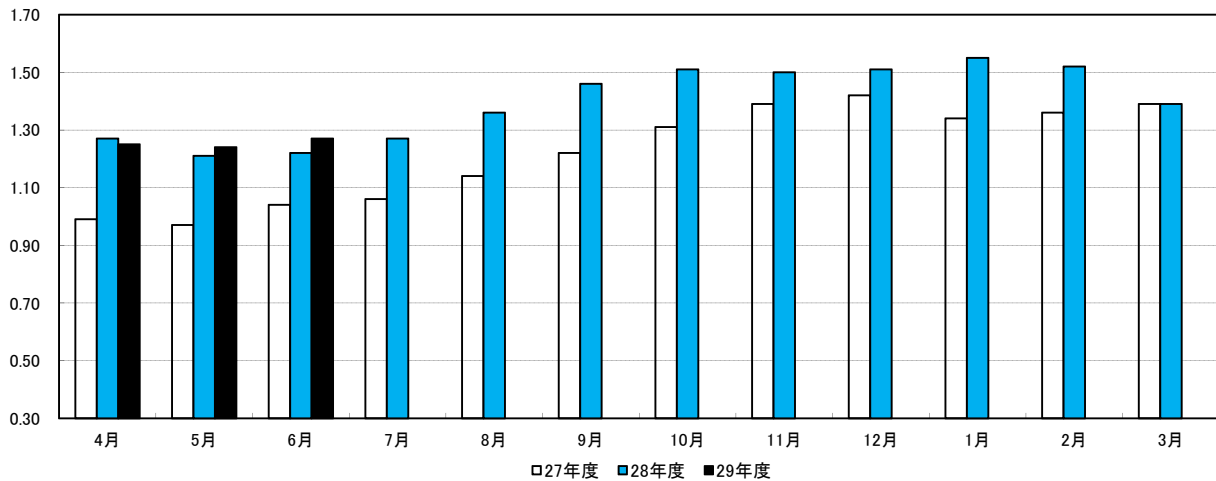


	27.4-6	27.7-9	27.10-12	28.1-3	28.4-6	28.7-9	28.10-12	29.1-3	29.4-6	29.7-9 の見通し
製造業	△ 13.7	1.9	9.8	2.0	△ 1.7	△ 9.8	5.5	7.8	△ 11.5	△ 14.6
建設業	△ 23.0	△ 1.9	△ 12.5	△ 20.0	△ 25.5	△ 2.6	△ 5.5	△ 31.2	△ 16.5	△ 16.7
卸売業	△ 18.6	△ 10.9	△ 8.7	10.0	△ 24.4	△ 31.4	△ 14.0	△ 41.7	△ 30.9	△ 14.7
小売業	△ 52.1	△ 38.3	△ 29.8	△ 41.3	△ 41.9	△ 42.1	△ 34.3	△ 42.6	△ 38.6	△ 31.3
不動産業	0.0	△ 27.3	△ 15.4	△ 7.7	15.4	△ 18.2	△ 20.0	14.3	11.8	△ 5.9
サービス業	△ 36.7	△ 7.9	0.0	△ 20.7	△ 10.6	△ 17.6	△ 9.7	△ 15.8	△ 18.9	△ 6.8

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

2 雇用

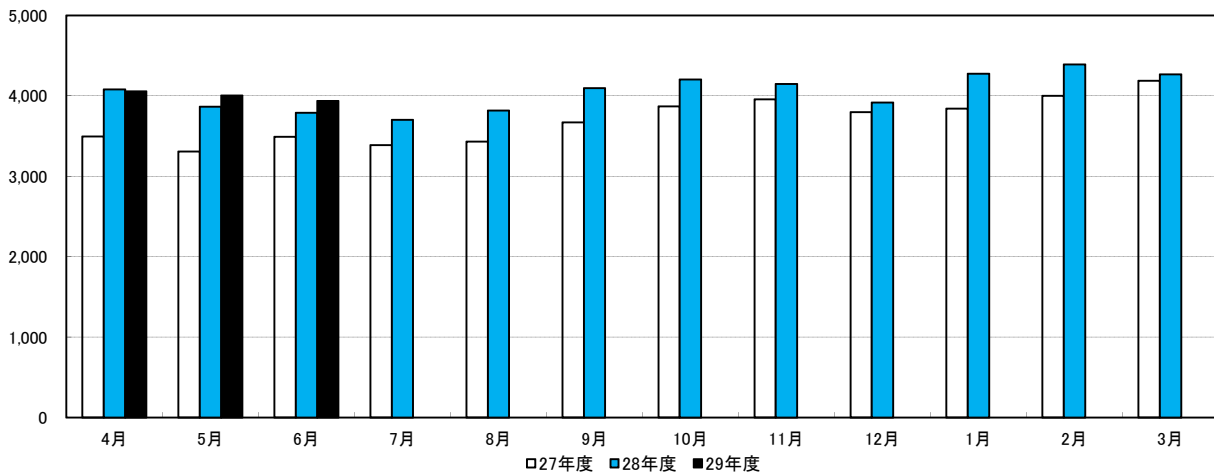
有効求人倍率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	0.99	0.97	1.04	1.06	1.14	1.22	1.31	1.39	1.42	1.34	1.36	1.39	1.22
28年度	1.27	1.21	1.22	1.27	1.36	1.46	1.51	1.50	1.51	1.55	1.52	1.39	1.40
29年度	1.25	1.24	1.27										1.25
対前月(増減)	△0.14	△0.01	+0.03										—
対前年(増減)	△0.02	+0.03	+0.05										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

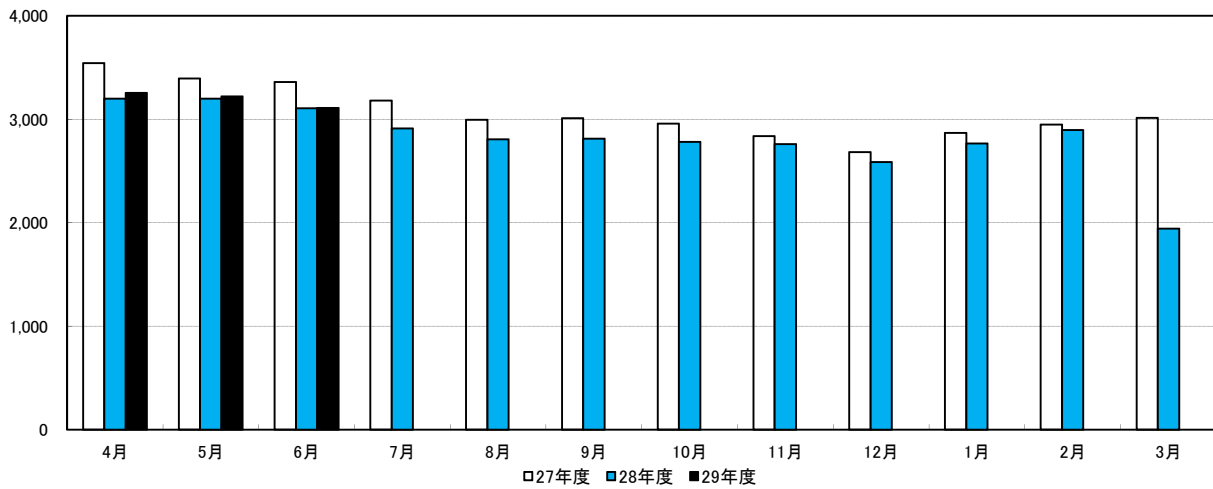
有効求人数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	3,494	3,306	3,491	3,387	3,431	3,668	3,867	3,955	3,798	3,842	4,000	4,185	3,702
28年度	4,078	3,865	3,790	3,702	3,816	4,093	4,202	4,148	3,916	4,273	4,390	4,265	4,045
29年度	4,055	4,002	3,936										3,998
前月比(%)	△4.92	△1.31	△1.65										—
前年同月比(%)	△0.56	+3.54	+3.85										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

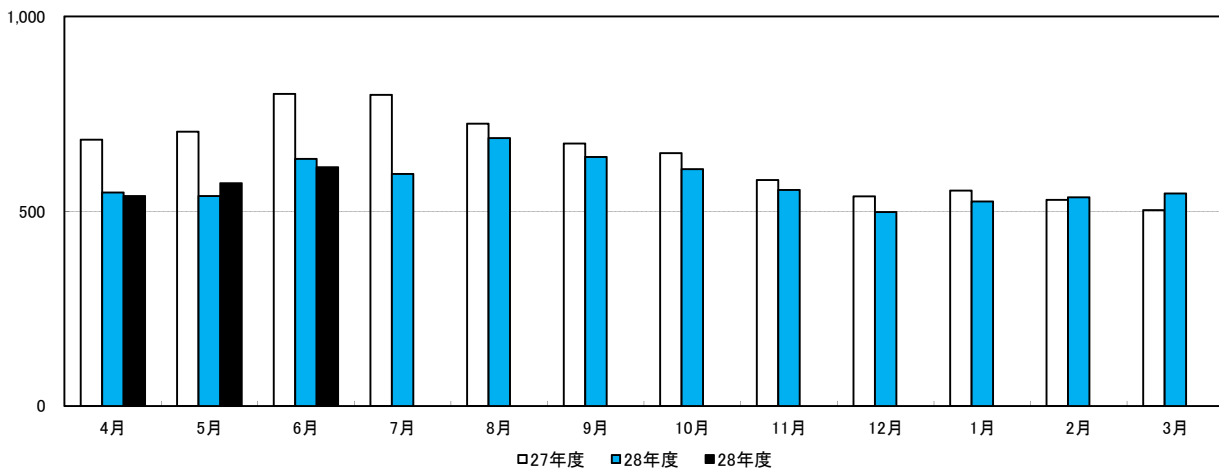
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	3,543	3,394	3,361	3,181	2,997	3,011	2,958	2,838	2,684	2,869	2,950	3,015	3,067
28年度	3,200	3,200	3,108	2,912	2,807	2,813	2,781	2,759	2,587	2,765	2,895	1,943	2,814
29年度	3,257	3,222	3,111										3,197
前月比 (%)	+67.63	△1.07	△3.45										—
前年同月比 (%)	+1.78	+0.69	+0.1										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)

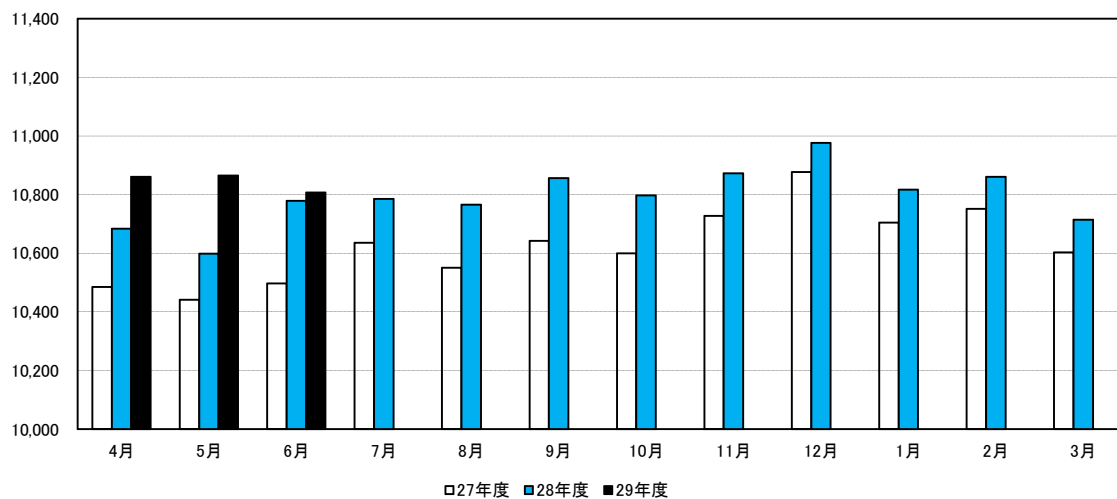


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	684	704	801	799	725	674	649	580	538	553	529	503	645
28年度	548	539	634	596	688	639	608	555	498	525	536	546	576
28年度	539	572	613										575
前月比 (%)	△1.28	+6.12	+7.17										—
前年同月比 (%)	△1.64	+6.12	△3.31										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

3 金融

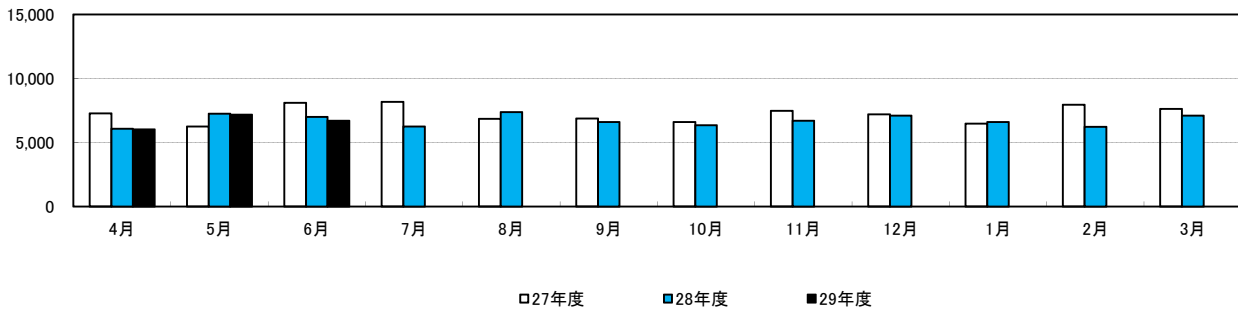
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	10,485	10,441	10,497	10,636	10,550	10,642	10,599	10,727	10,877	10,704	10,751	10,603	10,626
28年度	10,684	10,598	10,779	10,785	10,766	10,856	10,797	10,872	10,976	10,817	10,860	10,714	10,792
29年度	10,861	10,865	10,807										10,844
前月比 (%)	+1.37	+0.04	△0.53										—
前年同月比 (%)	+1.66	+2.52	+0.26										—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

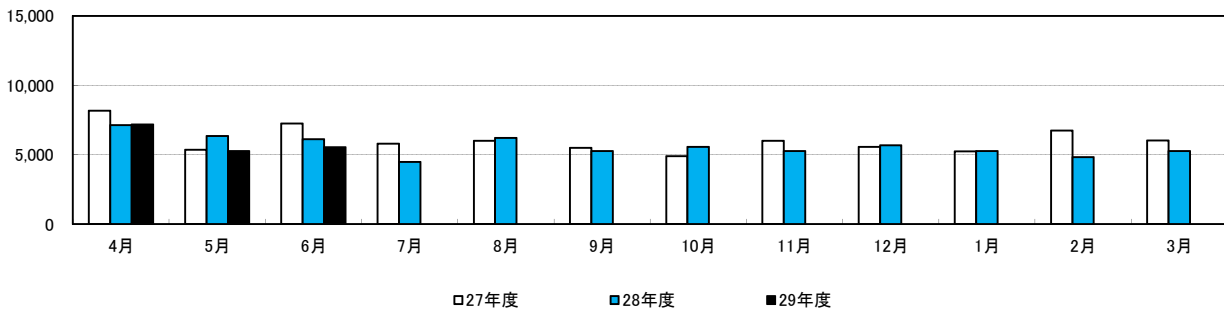
手形交換枚数(枚)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	7,276	6,253	8,092	8,177	6,858	6,879	6,602	7,484	7,202	6,466	7,959	7,621	7,239
28年度	6,084	7,241	7,008	6,263	7,367	6,603	6,351	6,711	7,105	6,603	6,235	7,098	6,722
29年度	6,018	7,178	6,699										6,632
前月比 (%)	△15.22	+19.28	△6.67										—
前年同月比 (%)	△1.08	△0.87	△4.41										—

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

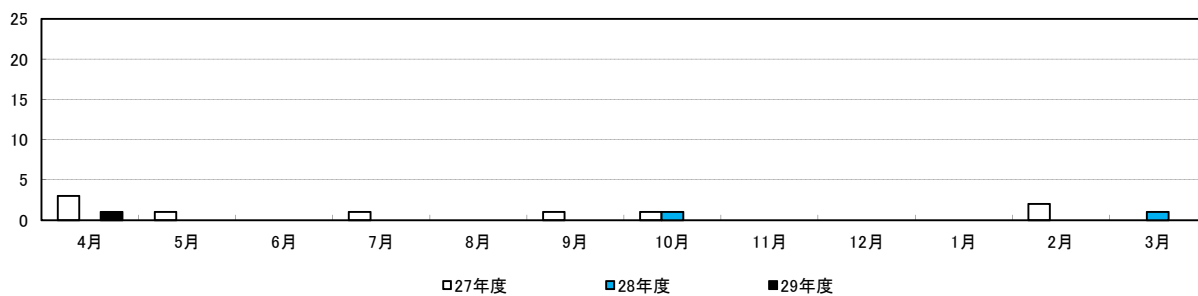
手形交換金額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	8,165	5,365	7,238	5,793	6,006	5,485	4,890	6,002	5,561	5,240	6,741	6,018	6,042
28年度	7,136	6,339	6,109	4,484	6,210	5,256	5,577	5,256	5,678	5,256	4,836	5,256	5,616
29年度	7,184	5,256	5,546										5,995
前月比 (%)	+36.68	△26.84	+5.52										—
前年同月比 (%)	+0.67	△17.08	△9.22										—

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

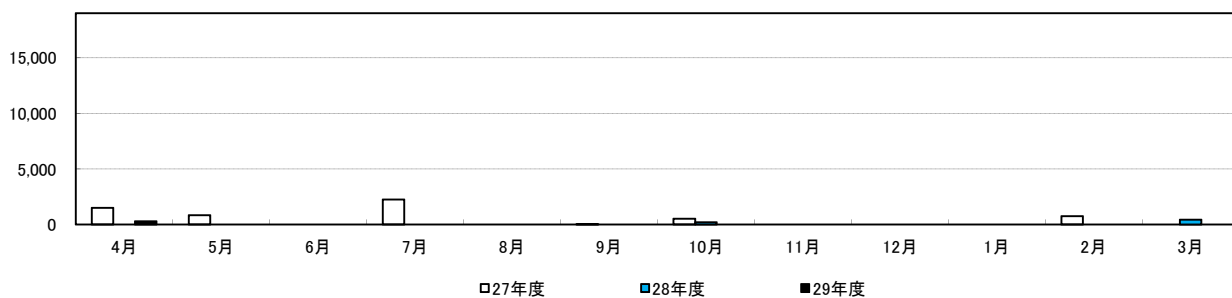
不渡手形枚数(枚)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	3	1	0	1	0	1	1	0	0	0	2	0	9
28年度	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
29年度	1	0	0										1

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

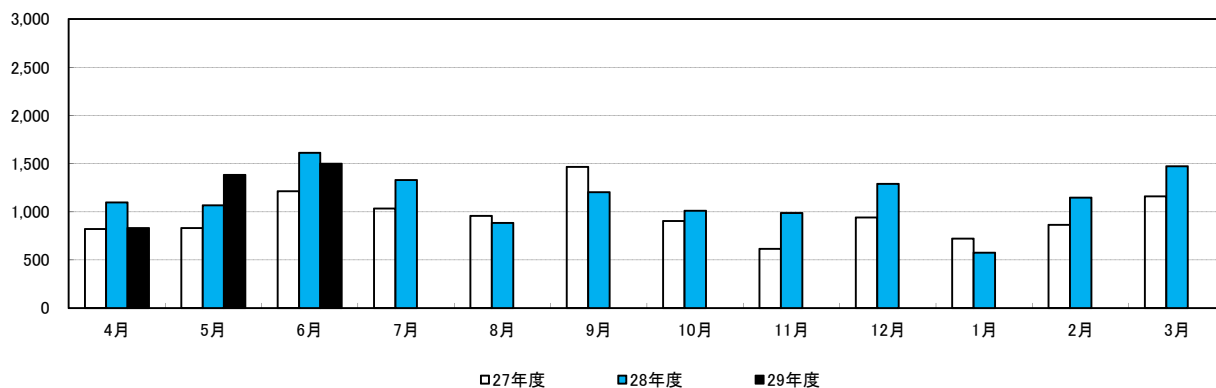
不渡交換金額(千円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	1,515	840	0	2,264	0	43	520	0	0	0	750	0	5,932
28年度	0	0	0	0	0	0	200	0	0	0	0	438	638
29年度	286	0	0										286

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

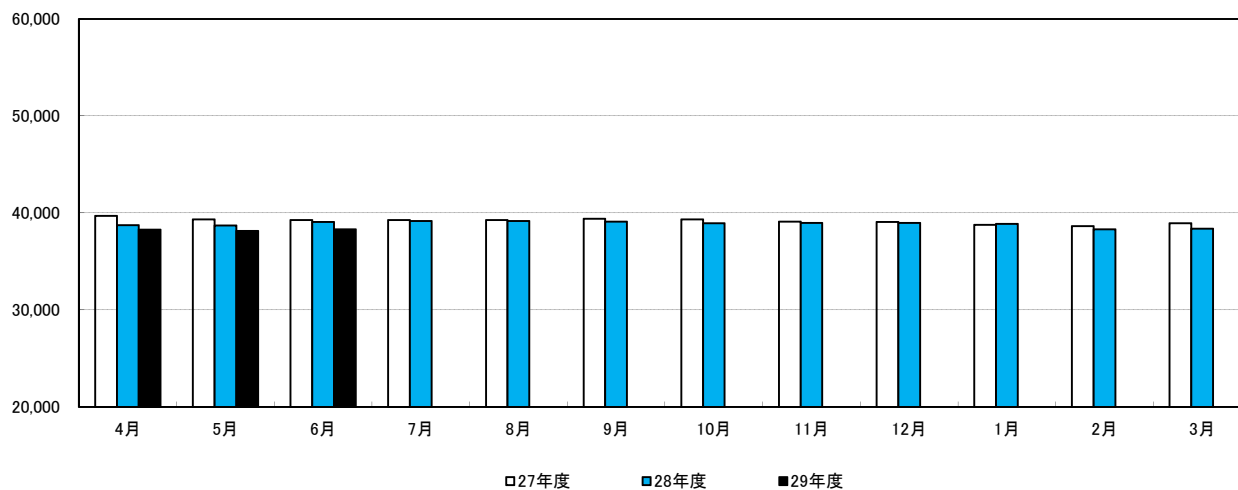
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	822	830	1,214	1,033	959	1,467	903	615	940	722	863	1,159	961
28年度	1,097	1,066	1,612	1,329	885	1,202	1,012	986	1,288	575	1,146	1,472	1,139
29年度	832	1,384	1,499										1,238
前月比 (%)	△43.48	+66.35	+8.31										—
前年同月比 (%)	△24.16	+29.83	△7.01										—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

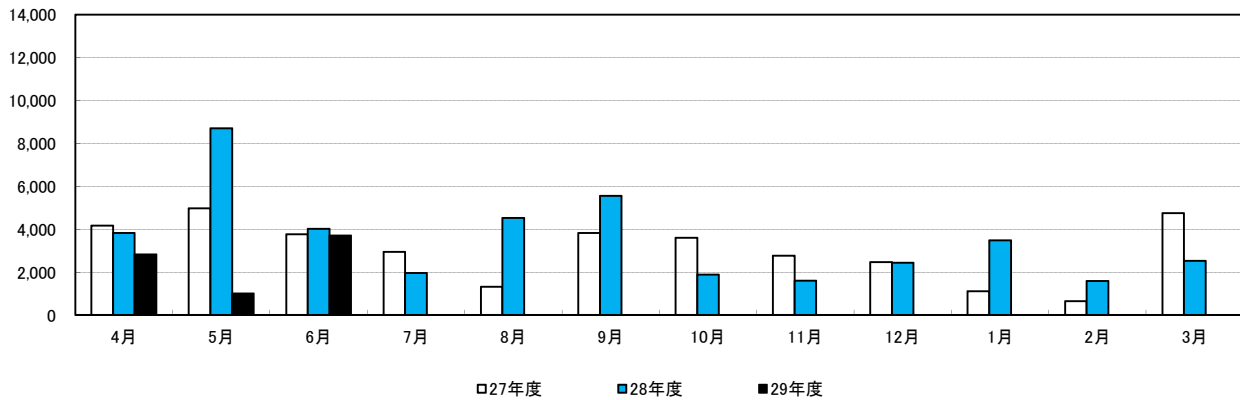


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	39,700	39,347	39,268	39,264	39,277	39,384	39,330	39,085	39,072	38,765	38,641	38,945	39,173
28年度	38,732	38,701	39,054	39,172	39,170	39,093	38,942	38,979	38,981	38,860	38,313	38,390	38,866
29年度	38,263	38,156	38,300										38,240
前月比 (%)	△0.33	△0.28	+0.38										—
前年同月比 (%)	△1.21	△1.41	△1.93										—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

4 公共工事

公共工事請負金額(百万円)

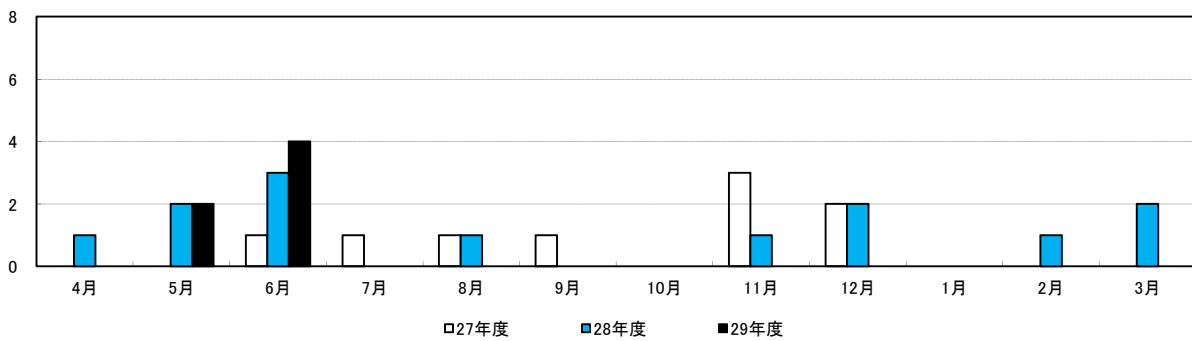


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	4,168	4,970	3,771	2,941	1,317	3,819	3,603	2,767	2,469	1,116	647	4,742	3,028
28年度	3,821	8,696	4,014	1,953	4,533	5,550	1,881	1,604	2,441	3,485	1,592	2,521	3,508
29年度	2,828	1,009	3,698										2,512
前月比(%)	+12.18	△64.32	+266.5										—
前年同月比(%)	△25.99	△88.4	△7.87										—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

5 企業倒産

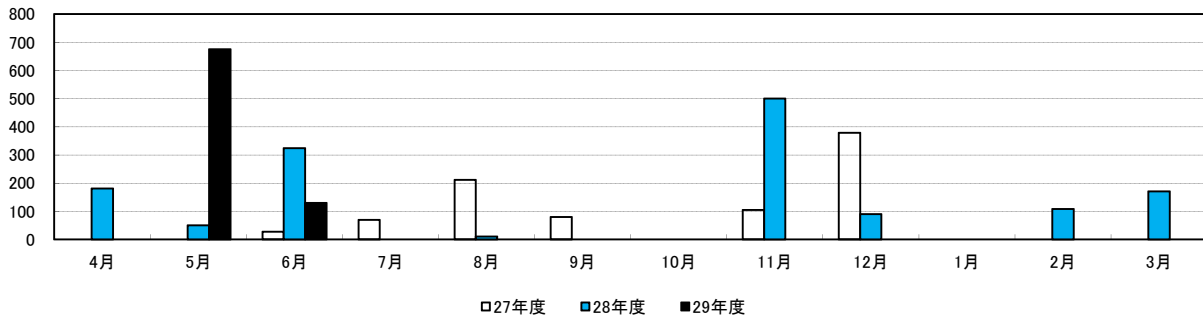
企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	0	0	1	1	1	1	0	3	2	0	0	0	9
28年度	1	2	3	0	1	0	0	1	2	0	1	2	13
29年度	0	2	4										6

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

企業倒産負債総額(百万円)



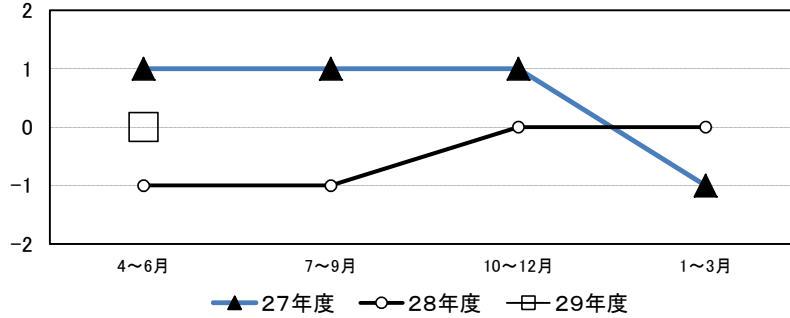
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	0	0	27	70	212	80	0	105	379	0	0	0	873
28年度	181	50	324	0	10	0	0	500	90	0	108	171	1,434
29年度	0	675	130										805

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

6 地場産業(豊岡かばん)

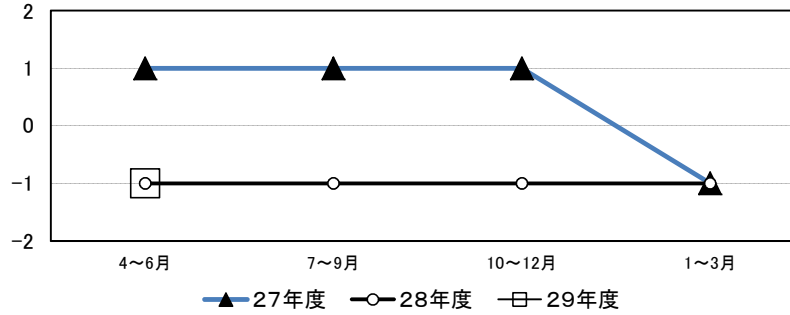
豊岡かばん 売上高 (前期比)

- 2: 多い
- 1: やや多い
- 0: 変わらない
- 1: やや少ない
- 2: 少ない



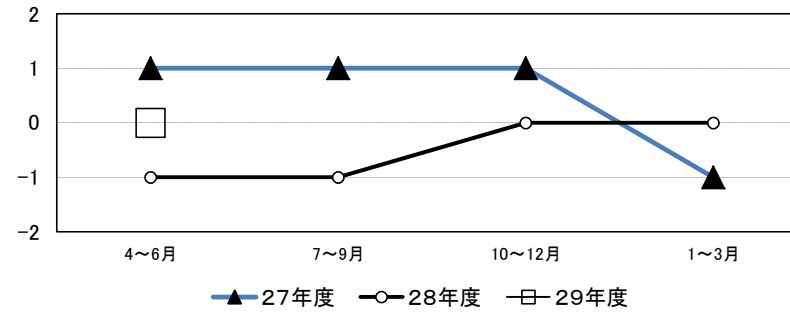
豊岡かばん 売上高 (前年同期比)

- 2: 多い
- 1: やや多い
- 0: 変わらない
- 1: やや少ない
- 2: 少ない



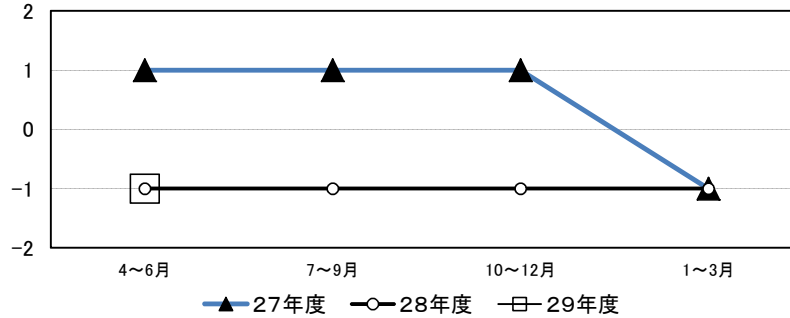
豊岡かばん 生産量 (前期比)

- 2: 多い
- 1: やや多い
- 0: 変わらない
- 1: やや少ない
- 2: 少ない

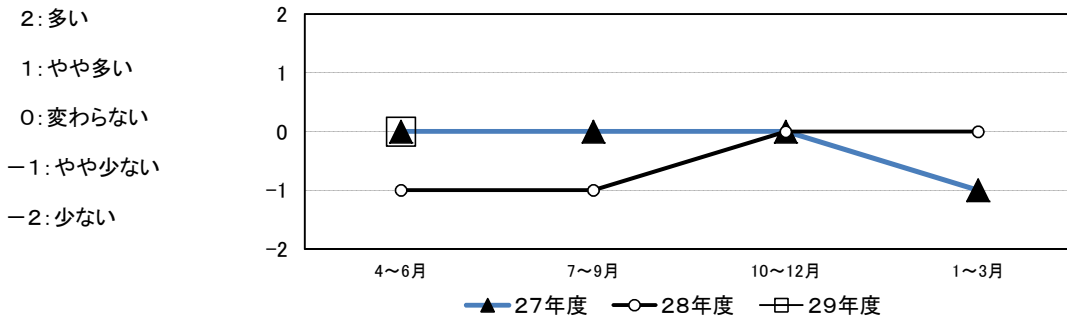


豊岡かばん 生産量 (前年同期比)

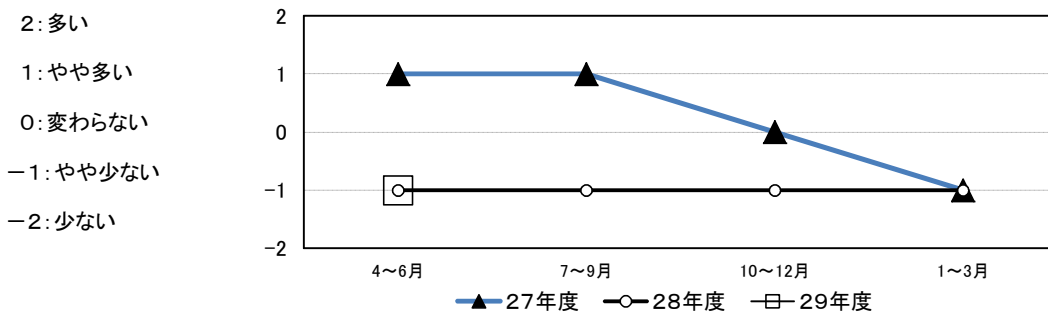
- 2: 多い
- 1: やや多い
- 0: 変わらない
- 1: やや少ない
- 2: 少ない



豊岡かばん 収益（前期比）



豊岡かばん 収益（前年同期比）



前期(平成29年1月～3月)と比べて売上高、生産量、収益とも変わらず。

前年同期(平成28年4月～6月)との比較では、売上高、生産量、収益ともやや少ない。

・鞆業界全体としては大きな変化はない。しかし、大手OEMの受注が若干減少し、影響を受けているメーカーが数社ある。

豊岡鞆協会 回答

7 主要業種の概況

食料品製造業	県内の食料メーカーによると、景況感の良いとのことである。4月は対前年比売上12%増となり、ゴールデンウィークの売上も良好であった。大量生産の大手との差別化を図り、独自性を保ちつつ新規顧客の獲得に努める一方で、購入者への定期的なDM発送など既存顧客優先の販売戦略も継続していく。従業員用駐車場の拡大や生産設備への投資、ベースアップなどの賃上げを含め、魅力のある会社づくりにも力を入れたいとのことである。
繊維製品	県内の衣料品メーカーによると、景況感はさほど良くない状況である。前期比・前年同期比ともに売上・利益は横ばい状態である。若手職員の教育環境が整わないため、工場単位での高卒採用枠の導入を見送ったほか、パート職員が集まりにくく、労働力確保に苦慮している状況である。他工場における生産量の本年度見通しが減少傾向にある中、本工場は横ばいの状況で稼働している。地域雇用の場としての役割と責任を持ち、地域貢献に力を入れたいとのことである。
印刷・同関連業	県内の印刷会社によると、景況感は悪い状況とのことである。業界全体として紙媒体での需要が低下しており、既存顧客からの受注頻度が落ちてきている。個人商店など小規模事業者からの新規受注はあるものの、ロット数が少なく継続的な受注には至っていない。退職による欠員に対応するため、全職種で募集をかけているが、人材が集まらない状況である。デザイナーの割合が高い強みを活かし、引き続き地域密着型経営に取り組んでいくとのことである。
靴製造	県内の靴製造会社によると、景況感はさほど良くないとのことである。昨年から小売店での動きも悪く、売上が減少していたが、3月によりやく下げ止まり昨年並みに回復してきている。業界全体としては依然として厳しい状況が続いている。人手は充足しているが、都市部から専門のデザイナーを雇用し、東京支店に配属している。即戦力となる人材の確保には継続して取り組んでいくとのことである。
金属製品製造業	県内の金属製品メーカーによると、景況感はさほど良くない状況である。ハイブリッド車やEV車など自動車関連部品の需要が堅調に動いており、少しずつではあるが景気回復の兆しを感じ始めているところである。一方、新規採用予定数が採用計画の4割程度の充足率となっており、人材確保が難航している。将来的な労働力不足に対応するため、今年度は検査用カメラなどの自動化・省力化設備の導入を計画しているとのことである。
運輸	県内の道路旅客運送会社によると、景況感はさほど良くない状況である。地域の人口減少に伴う利用者の減少は避けられず、路線バスや乗り合いバス利用者数の緩やかな減少傾向が続いている。一方で、3月に北近畿豊岡自動車道が豊岡市日高町まで延伸し、特急バス利用者数の増加が見込まれるため、バス本数を増加するなど利用率上昇に向けた取り組みを強化している。若年者の離職問題は深刻化しており、人材不足による事業への影響が懸念される。労務管理システムの見直しなど対処を急いでいるとのことである。
金融業	県内の金融機関によると、景況感はさほど良くない状況である。前年同期比で法人向けの融資件数・金額ともに横ばい状態が続いている。京阪神では動きのある住宅ローンなどの消費者向け融資も地方では変化がない状況である。一方で、製造業において国の助成制度を利用した設備投資が増加傾向にあり、自動化設備の導入など省人化投資に向けた動きがみられる。人材確保に苦慮する企業が、やむを得ずパート賃金を引き上げるなどのケースも散見されるとのことである。
宿泊業(城崎)	県内温泉旅館によると、景況感は悪い状況である。シーズンオフのため閑散期の6月から7月初旬の客数が極端に減少している。数年前からインバウンド客が増加しているが、国内客に対するサービスの質を維持するため、平日に限定して予約を受けると客室数を制限している。余裕があれば正規で雇用したいが、パートで人手を補っているのが現状である。今後も質の高いサービスを提供することで、顧客満足度の向上に努めたいとのことである。
宿泊業(湯村)	県内温泉旅館によると、景況感はさほど良くない状況とのことである。大雪の影響は小さかったものの、シーズン中はカニ漁獲量が少なく価格高騰が続いたため、利益率にマイナス影響が出ている。IT活用による社内情報の一元化により省力化を図るとともに、誘客対策として還暦プランの提案など年配層を中心として団体客の誘致にも取り組んでいく。今後も近隣の温泉地と情報交換しつつ、豊富な湯量を誇る温泉力を売りとして着地型観光への取り組みに力を入れていくとのことである。

「兵庫県の経済・雇用情勢」より